

LaFerrari

1:8スケール

究極のハイパーカー
究極のパフォーマンス
究極のスタイル

組立ガイド
Pack 6

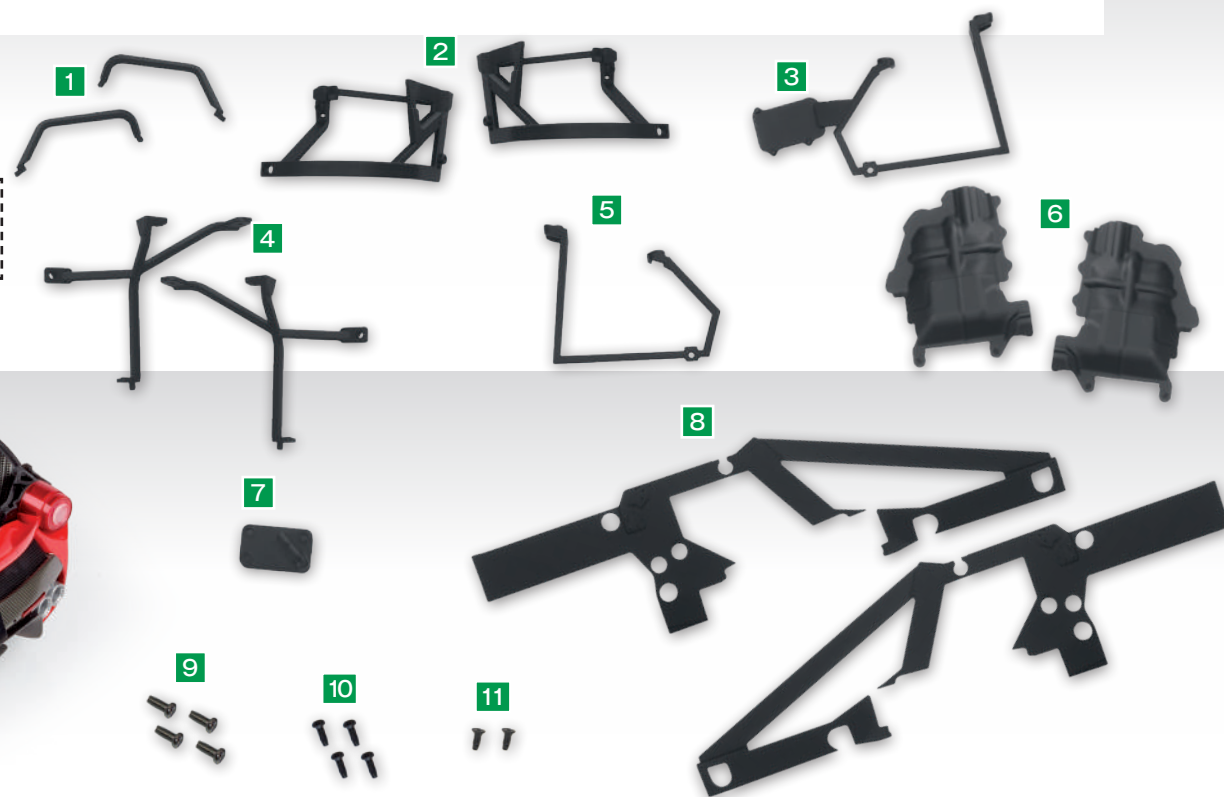
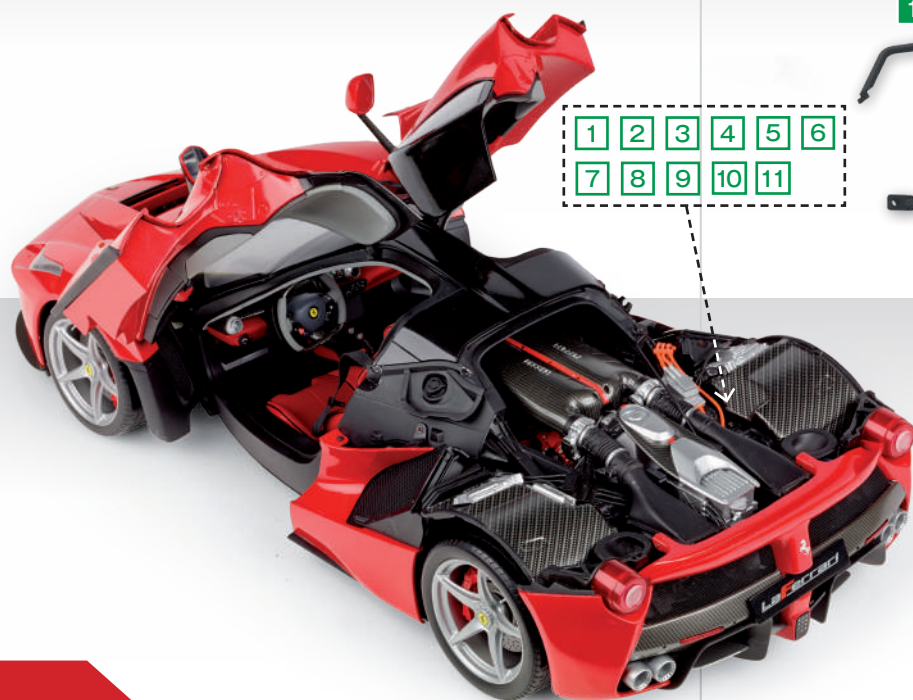
AGORA
MODELS

STAGE41 | リアマッドガード THE REAR MUDGUARDS

独自の設計思想に基づいた
ラ・フェラーリの構造は複雑ですが、
本モデルではこのリアマッドガードのように
その理念をあますところなく
再現しています。

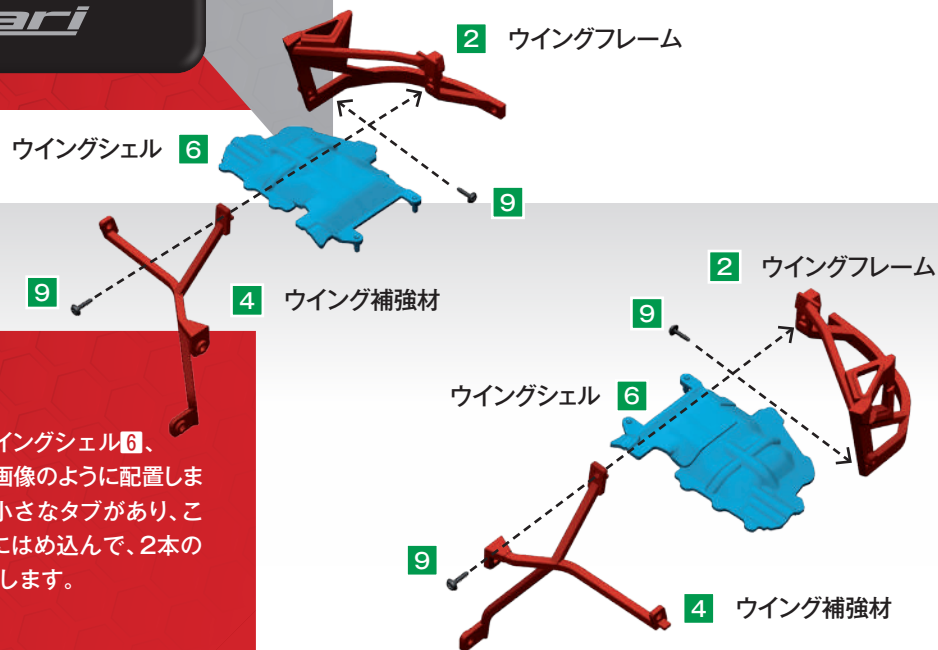
PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	サイド補強カップリング	2	ABS
2	ウイングフレーム	2	ABS
3	右側補強材	1	ABS
4	ウイング材補強材	2	ABS
5	左側補強材	1	ABS
6	ウイングシェル	2	ABS
7	スクエアコンテナー	1	ABS
8	インナーサイドパネル	2	ABS
9	タイプKネジ	4	メタル
10	タイプHネジ	4	メタル
11	タイプDネジ	2	メタル



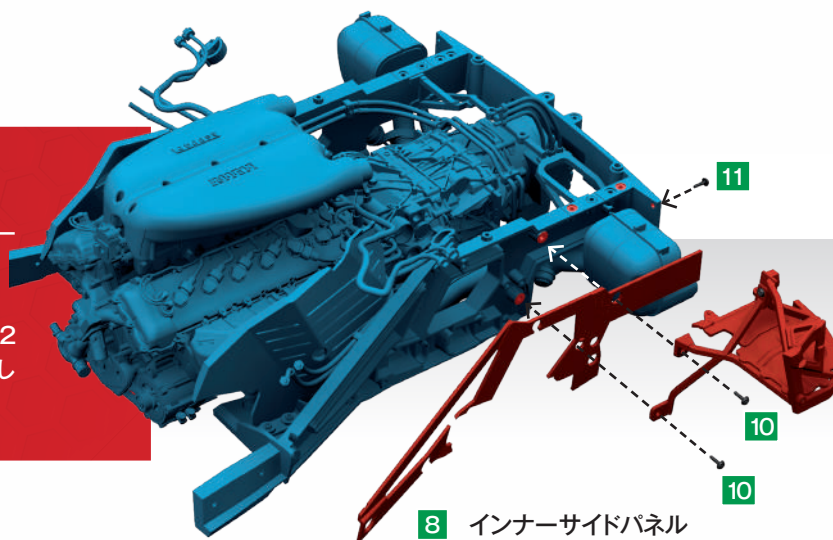
STEP1

ウイング補強材④、ウイングシェル⑥、ウイングフレーム②を画像のように配置します。補強材には2つの小さなタブがあり、これをウイングフレームにはめ込んで、2本のタイプKネジ⑨で固定します。



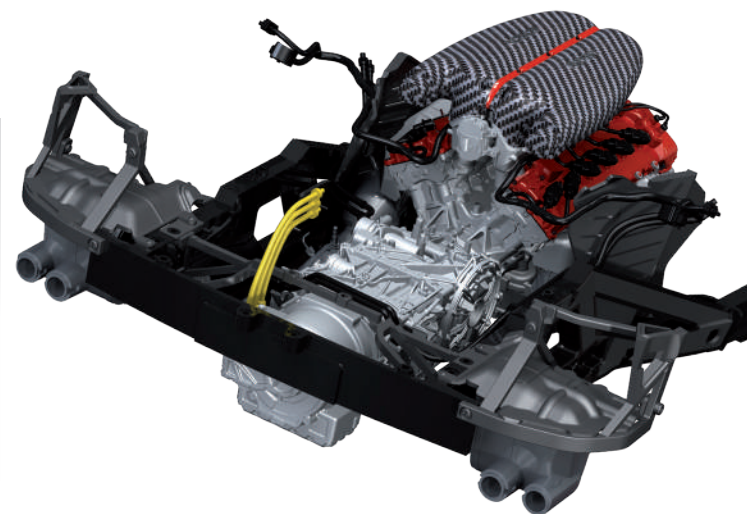
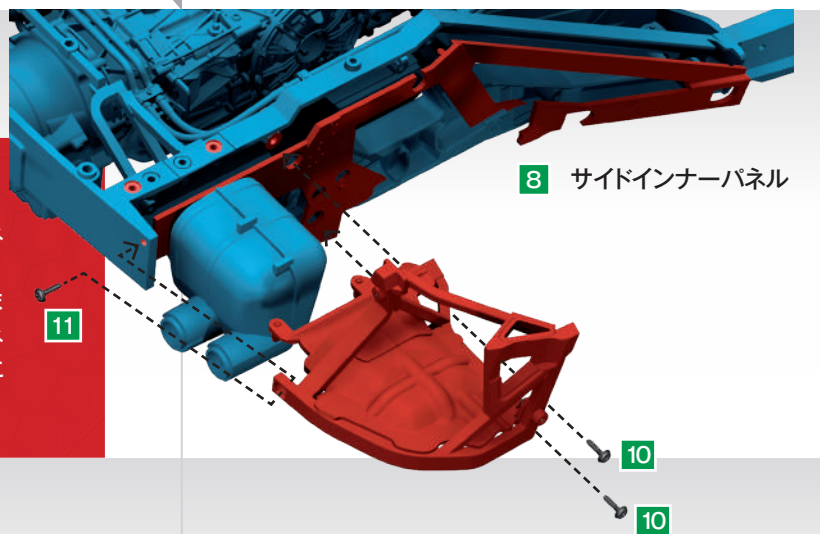
STEP2

まず、左側。画像のようにインナーサイドパネル⑧をリアフレームにはめ、STEP1のアッセンブリを配置します。タイプHネジ⑩2本とタイプDネジ⑪1本を使用して、リアフレームに固定します。



STEP3

右側も同様です。インナーサイドパネル⑧をリアフレームにはめ、STEP1のアセンブリーを画像のように配置します。タイプHネジ⑩2本とタイプDネジ⑪1本を使用して、リアフレームに固定します。



STAGE41完了

リアマッドガードが取り付けられた状態です。
引き続きエンジンを組み立てていきます。

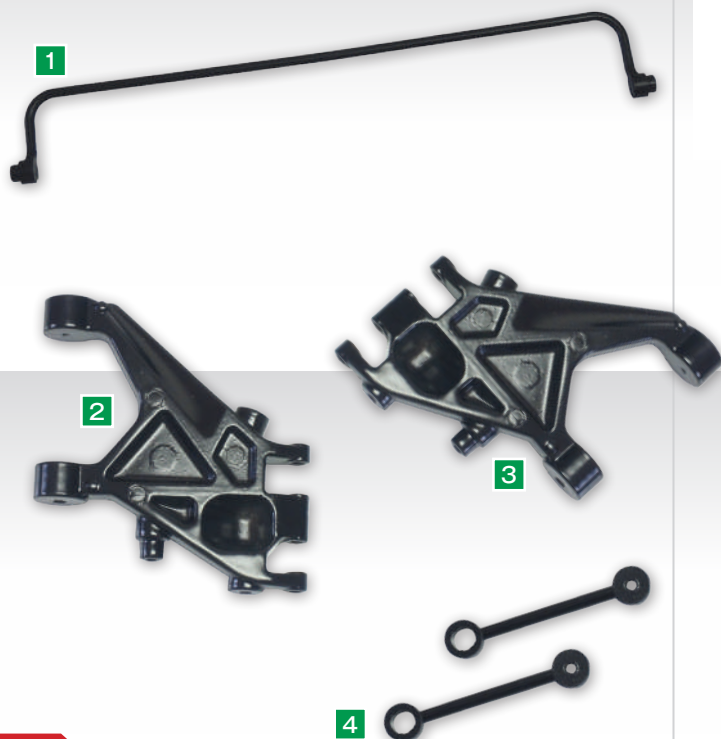


STAGE42 | リアサスペンション THE REAR SUSPENSION¹

「ラ・フェラーリ」のサスペンションは、
究極のハンドリング性能と
極上のドライビングフィールを
ドライバーに与えています。

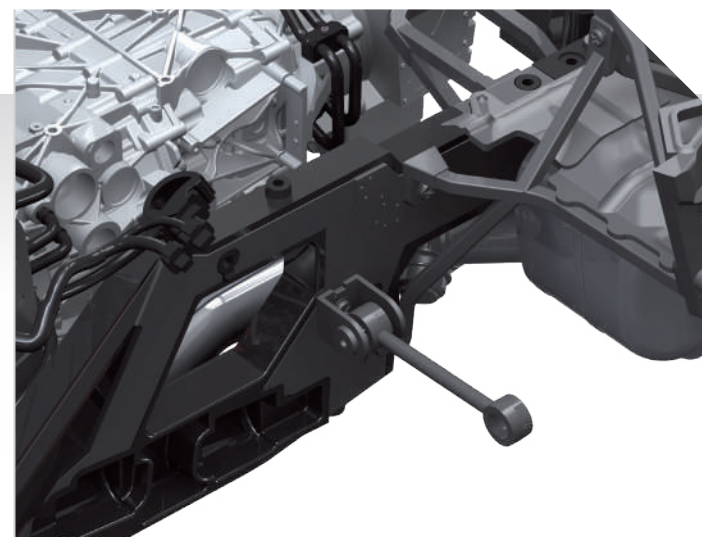
PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	スタビライザーバー	1	ABS
2	右ロアアーム	1	メタル
3	左ロアアーム	1	メタル
4	リアタイロッド	2	ABS
5	小ヒンジ	4	メタル
6	フロントタイロッド	2	メタル
7	大ヒンジ	4	メタル
8	左ビラー	1	ABS
9	右ビラー	1	ABS
10	バーサポート	2	ABS
11	ロングタイロッド	2	ABS
12	タイプMネジ	4	メタル
13	タイプOネジ	4	メタル



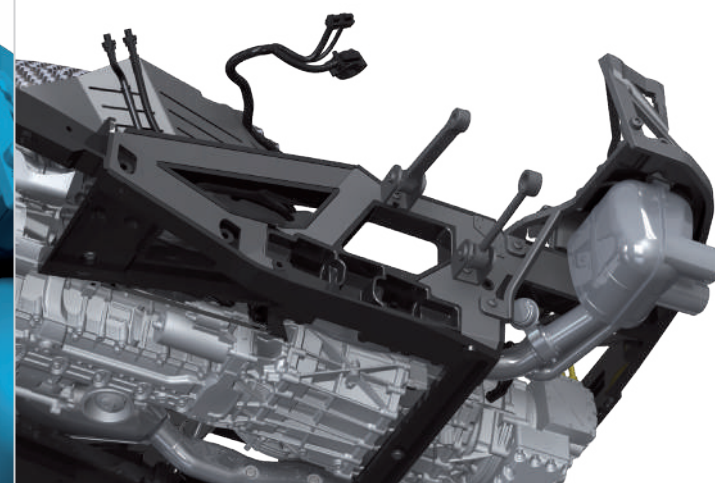
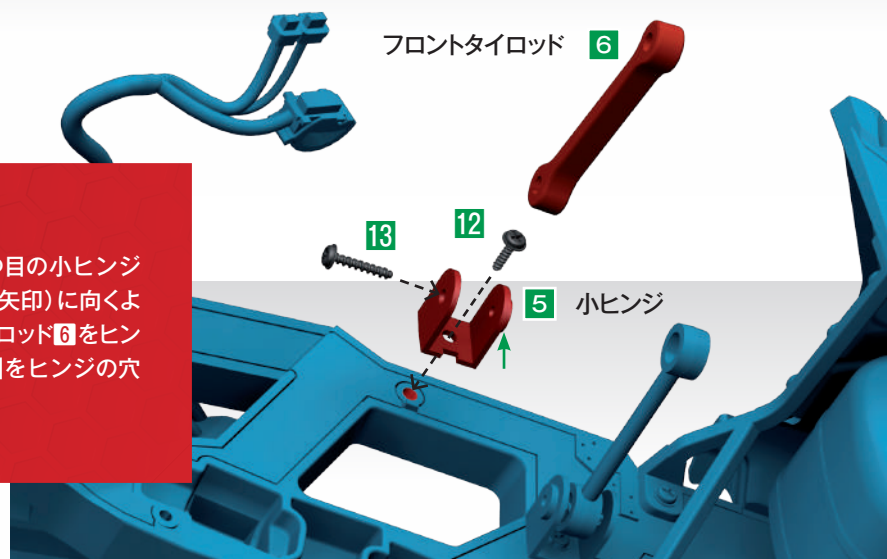
STEP1

リアフレームの左側の作業です。小ヒンジ
5をタイプMネジ12で固定します。リアタイ
ロッド4をヒンジにはめ込み、タイプO
ネジ13をヒンジの穴に通して固定します。



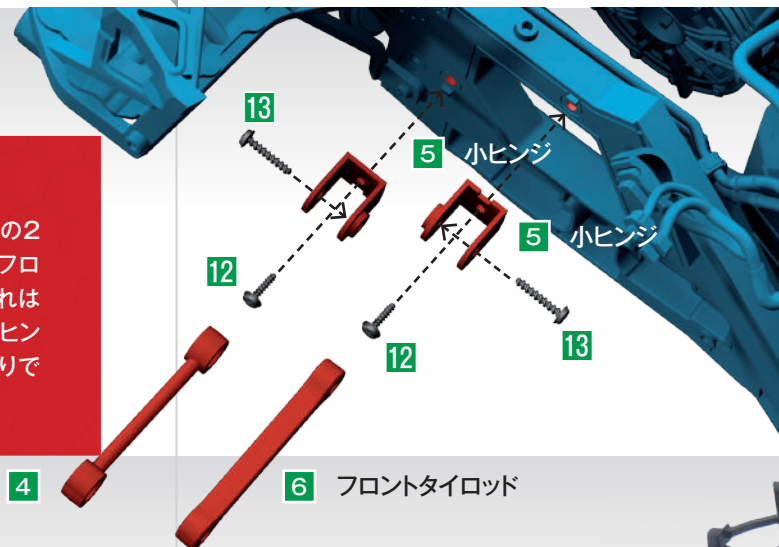
STEP2

タイプMネジ12を使って、2つ目の小ヒンジ
5のネジ山突起部が後方(緑矢印)に向くよ
うに固定します。フロントタイロッド6をヒン
ジにはめ込み、タイプOネジ13をヒンジの穴
に通して固定します。



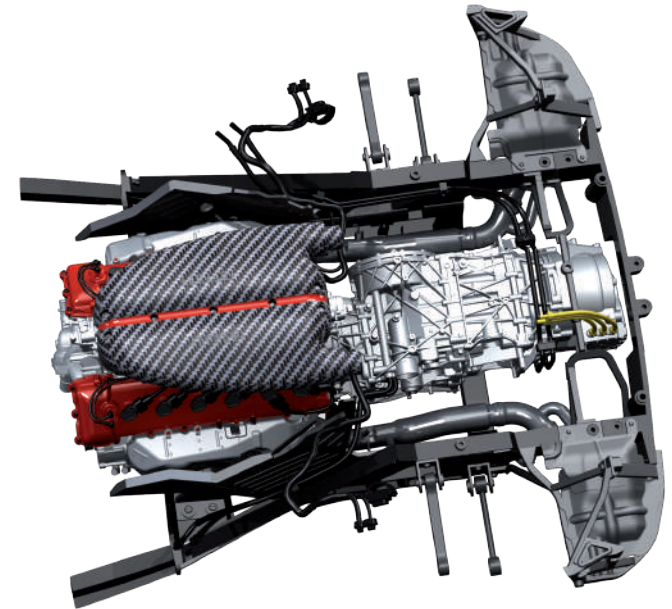
STEP3

リアフレームの右側の作業です。残りの2つの小ヒンジ⁵に、リアタイロッド⁴とフロントタイロッド⁶を取り付けます。これはステップ1と2の工程の繰り返しです。ヒンジの向き(ネジ山突起部)は画像の通りです。注意してください。



リアタイロッド ⁴

⁶ フロントタイロッド



STAGE42完了

フロントタイロッドとリアタイロッドがリアフレームに取り付けられた状態です。引き続き、次のステージでもサスペンションを組み立てていきます。未使用のパーツは保管しておいてください。

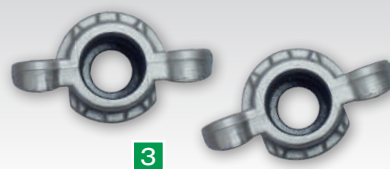
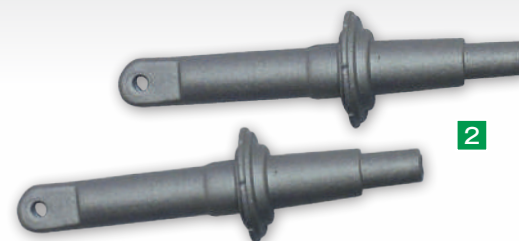
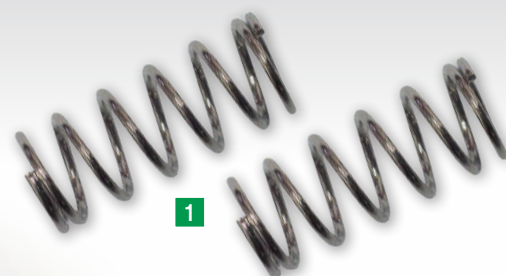


STAGE43 | リアサスペンション THE REAR SUSPENSION②

「ラ・フェラーリ」に採用された
独立4輪サスペンションは、
どんなに過酷な走行条件においても
最高のパフォーマンスを発揮します。

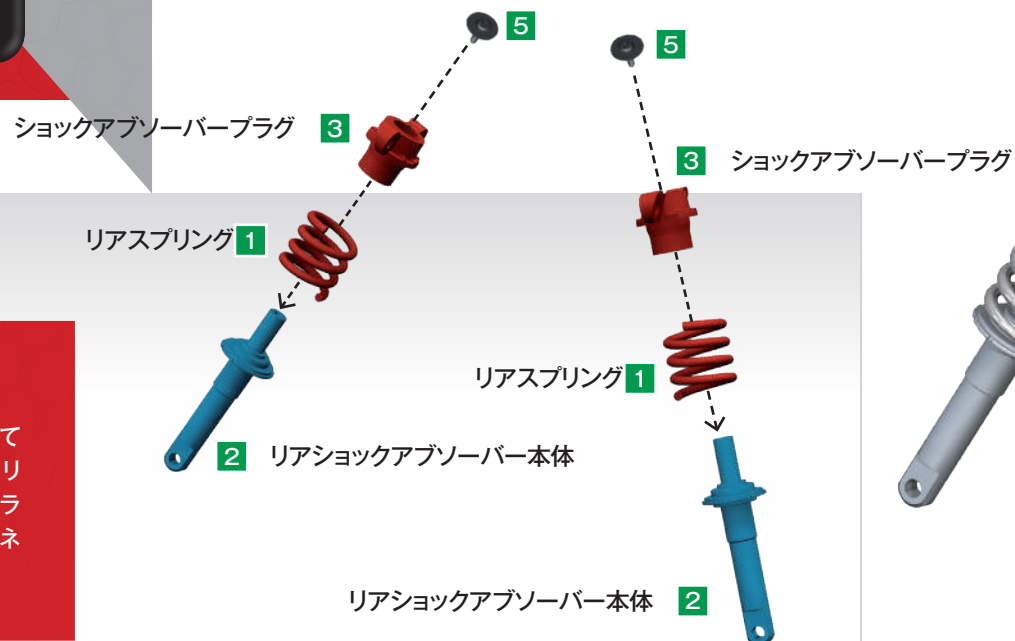
PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	リアスプリング	2	メタル
2	リアショックアブソーバー本体	2	ABS
3	ショックアブソーバープラグ	2	ABS
4	タイプTネジ	2	メタル
5	タイプNネジ	2	メタル
6	タイプCネジ	2	メタル
7	タイプMネジ	4	メタル
8	タイプSネジ	4	メタル



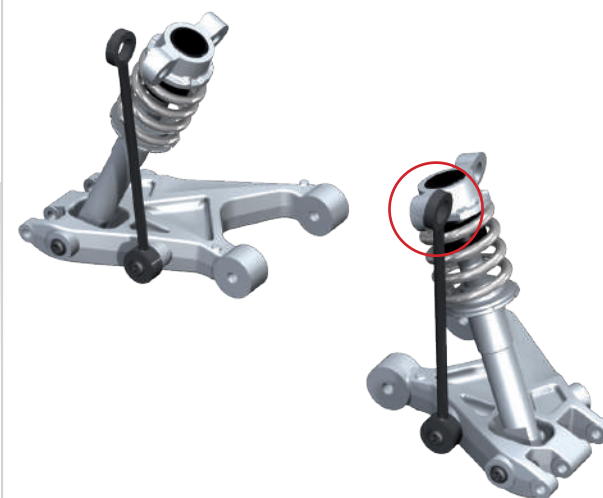
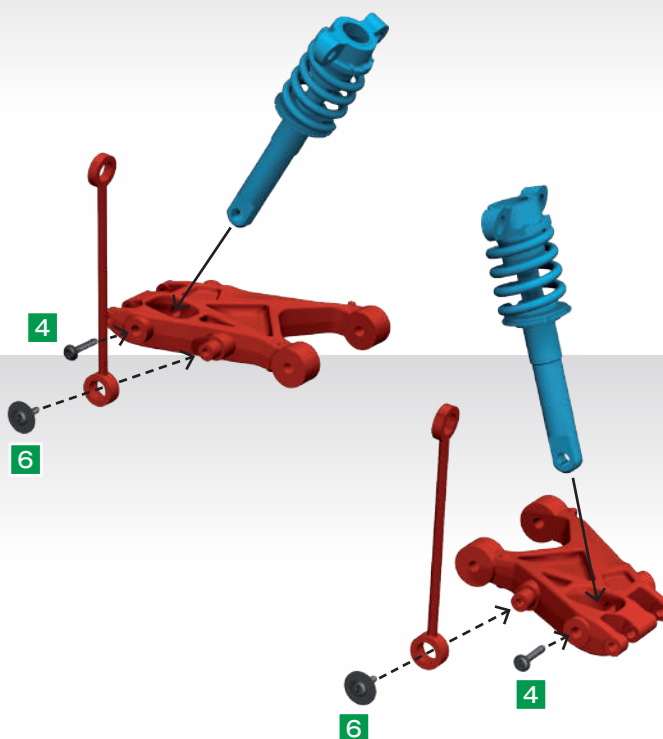
STEP1

一対のリアショックアブソーバーを組み立てます。リアショックアブソーバー本体²、リアスプリング¹、ショックアブソーバープラグ³を画像のように組み合わせ、タイプNネジ⁵で固定します。



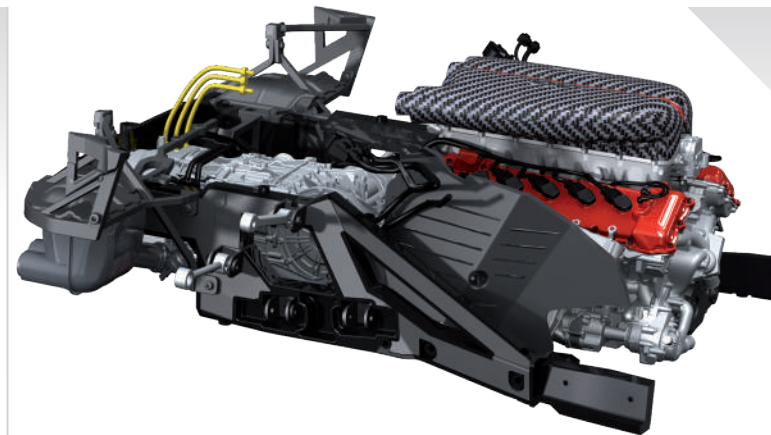
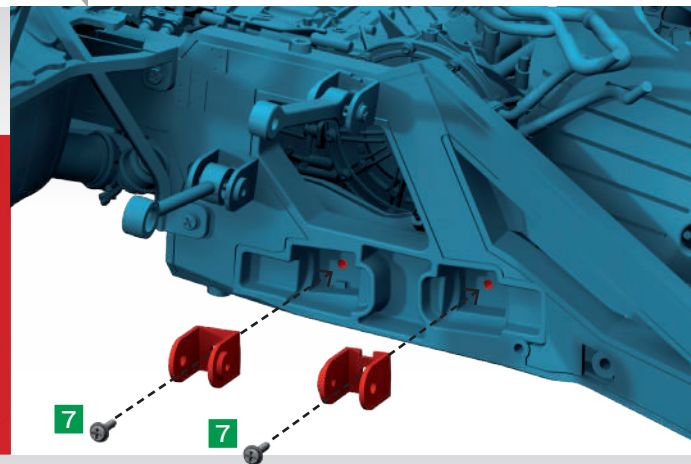
STEP2

画像のように、ステージ42で開梱した2本のロングタイロッドを左右のロアアームに合わせ、それぞれタイプCネジ⁶で固定します。ロングタイロッドとショックアブソーバープラグの位置関係は、右図の赤丸のようになります。リアショックアブソーバー本体をロアアームにはめ込み、タイプTネジ⁴で固定します。



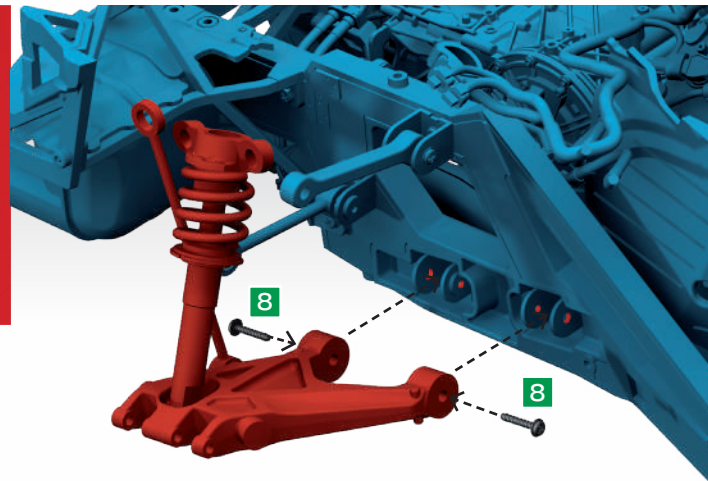
STEP3

リアフレームの右側に、ステージ42で開梱した大ヒンジを2本のタイプMネジ7で固定します。大ヒンジのネジ山突起部は、互いに向き合うように取り付けます。



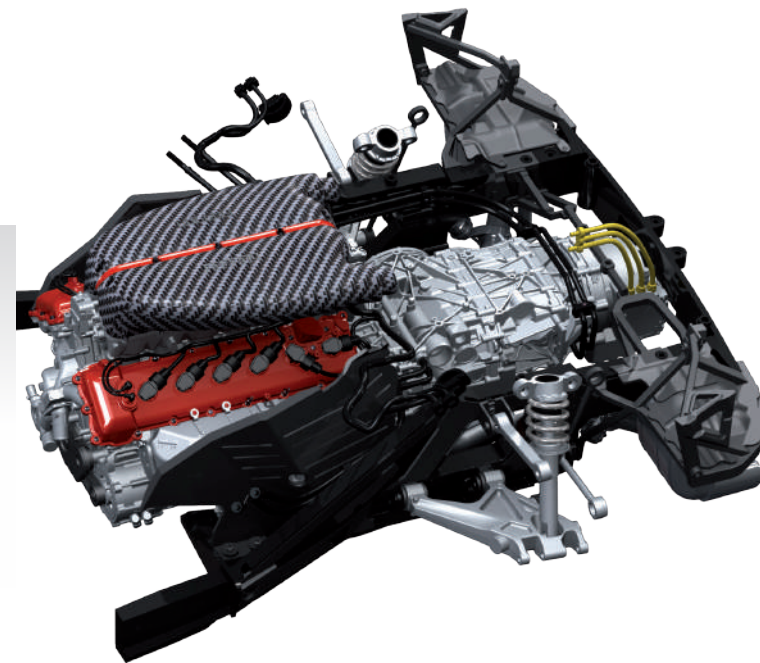
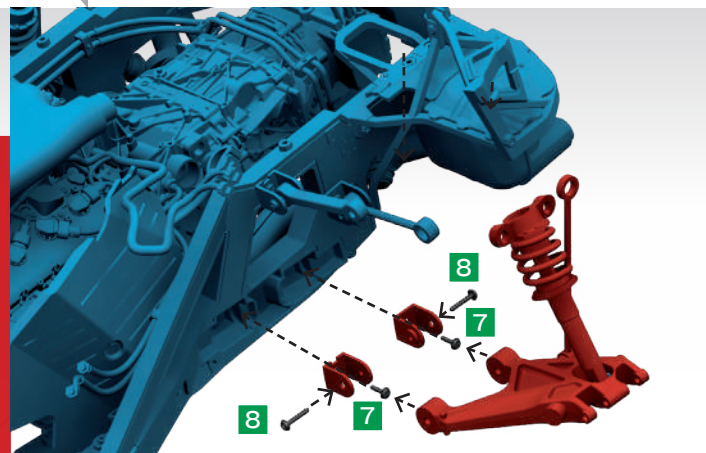
STEP4

2本のタイプSネジ8を使って、右のリアサスペンションアッセンブリーをSTEP3で取り付けられた大ヒンジに固定します。



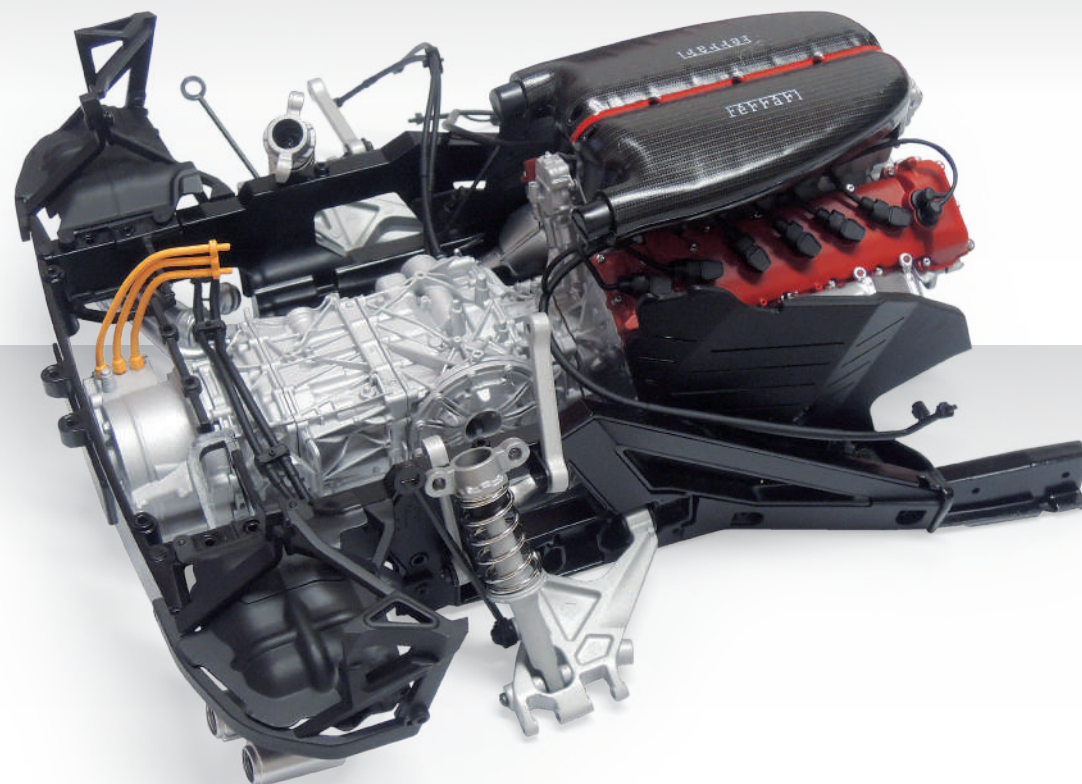
STEP5

リアフレームの左側でSTEP3とSTEP4
の手順を繰り返して、左のリアサスペン
ションアッセンブリーを固定します。



STAGE43完了

リアサスペンションの主要構造体が、リア
フレームに取り付けられた状態です。



STAGE44 | 右リアブレーキディスク
THE REAR RIGHT BRAKE DISC

強力なリアディスクブレーキは、
冷却効果を高めるために
ベンチレーションが考慮され、
ディスクには独創的かつ効果的なパターンの
肉抜き加工が施されています。

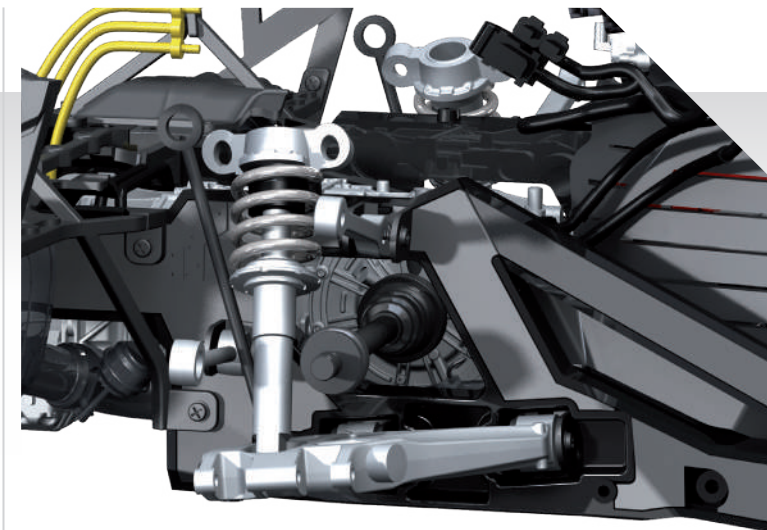
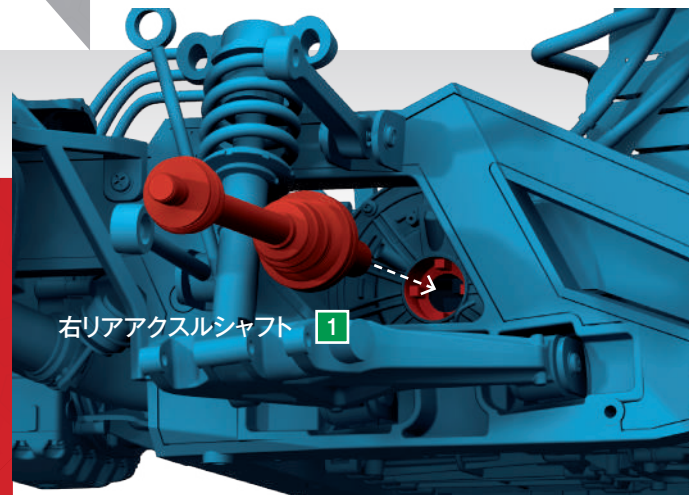
PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	右リアアクスルシャフト	1	ABS
2	右リアブレーキディスク	1	複合
3	タイプCネジ	1	メタル
4	タイプUネジ	1	メタル
5	タイプVネジ	2	メタル



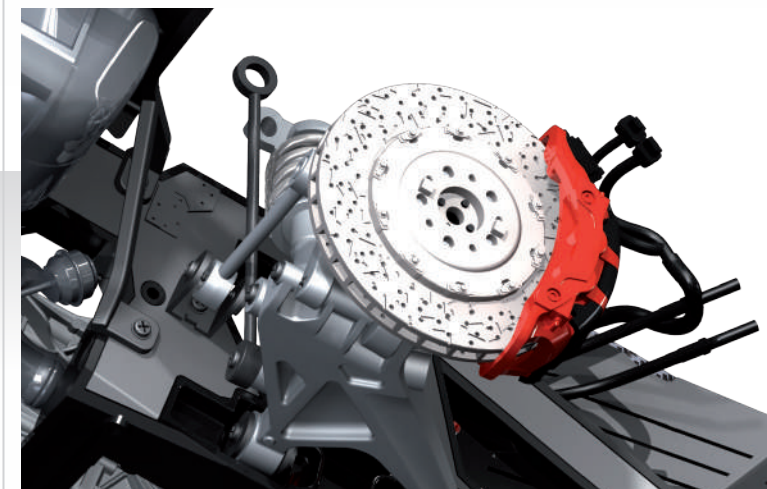
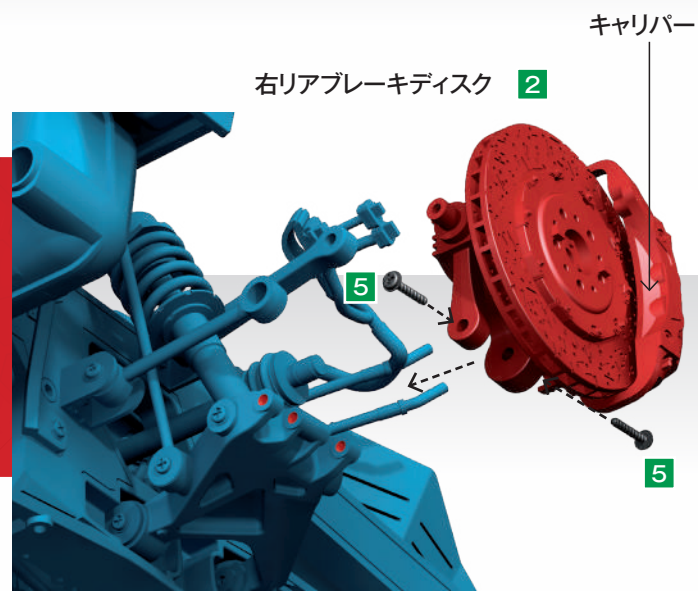
STEP1

右リアアクスルシャフト❶を、トランスミッションの右側にある円形の凹みにはめ込みます。画像の向きに注意して、差し込んでください。



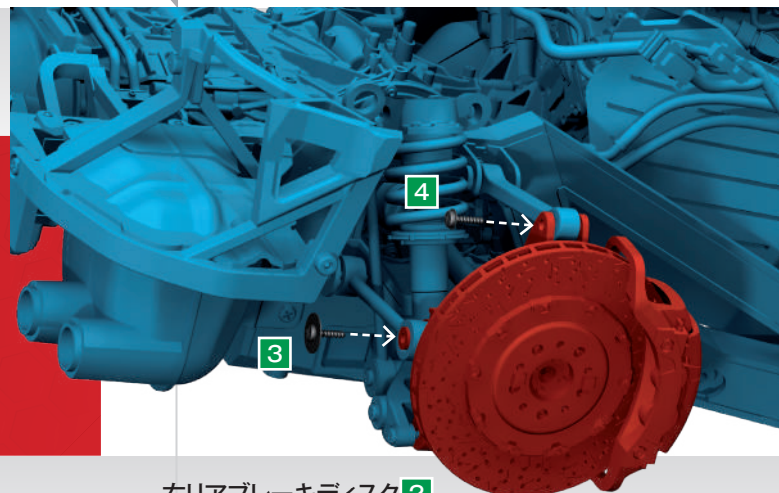
STEP2

画像のようにキャリパーをアッセンブリーの前方に向け、右リアブレーキディスク❷をロアアームに配置し、2本のタイプVネジ❸で固定します。

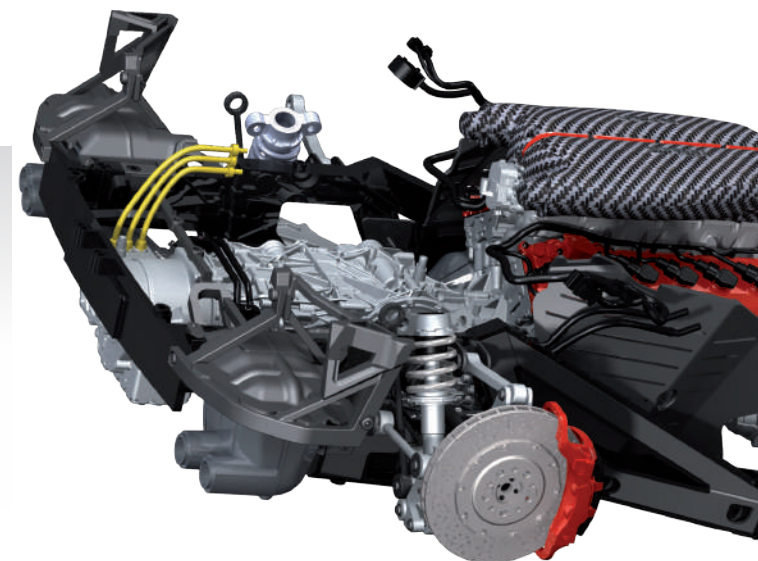


STEP3

2本のタイロッドを右リアブレーキディスク②に取り付け、タイプCネジ③とタイプUネジ④のネジを、それぞれ1本ずつ使って固定します。

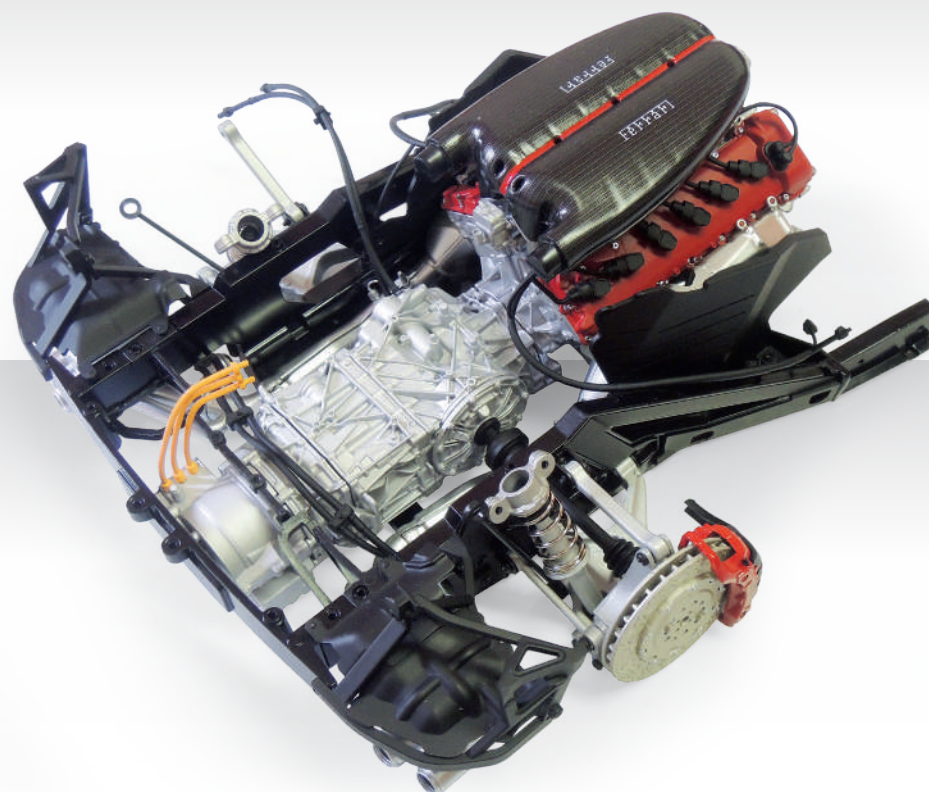


右リアブレーキディスク②



STAGE44完了

右リアサスペンションとブレーキディスクが取り付けられた状態です。次のステージでは、リアの左側を組み立てます。



STAGE45 | 左リアブレーキディスク
THE REAR LEFT BRAKE DISC

ディスクを使った制動システムは、
'50年代に初めて市販車に採用されました。

以降、たゆまぬ研究が進められ、
今日の完成されたシステムとなりました。

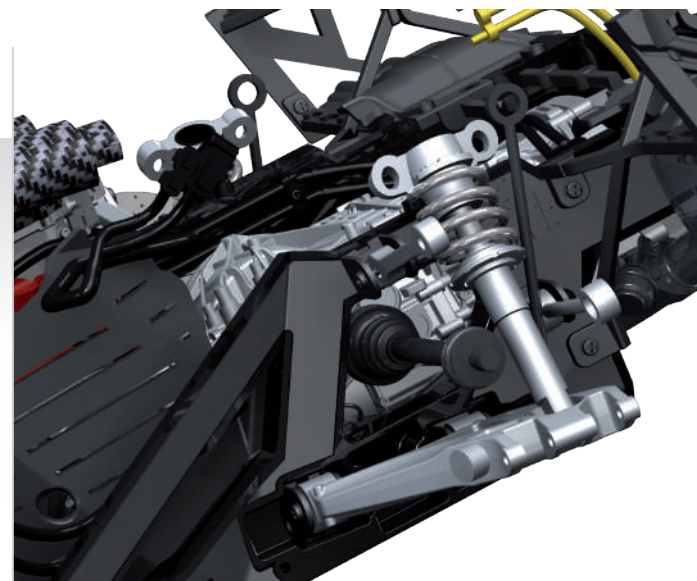
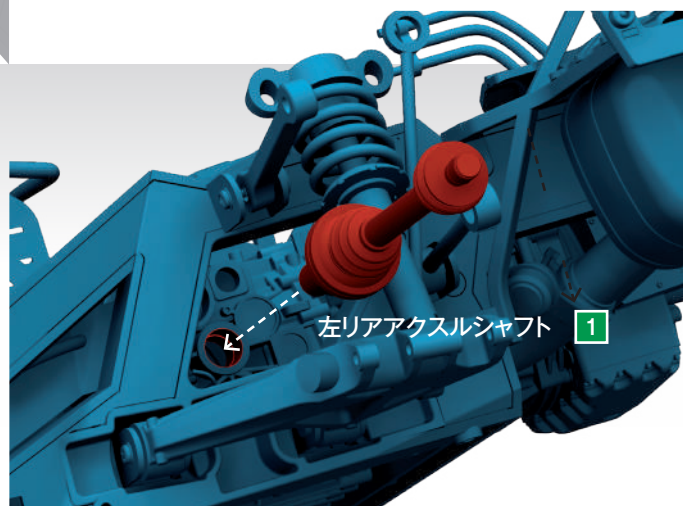
PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	左リアアクスルシャフト	1	ABS
2	左リアブレーキディスク	1	複合
3	タイプCネジ	1	メタル
4	タイプUネジ	1	メタル
5	タイプVネジ	2	メタル
6	タイプAネジ	4	メタル



STEP1

STAGE44と同様に、左リアアクスルシャフト❶を、トランスミッションの左側にある円形の凹みにはめ込みます。画像の向きに注意して、差し込んでください。

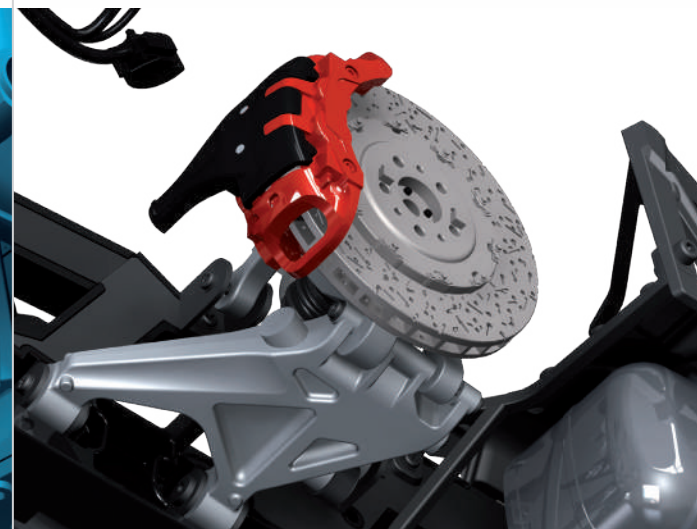
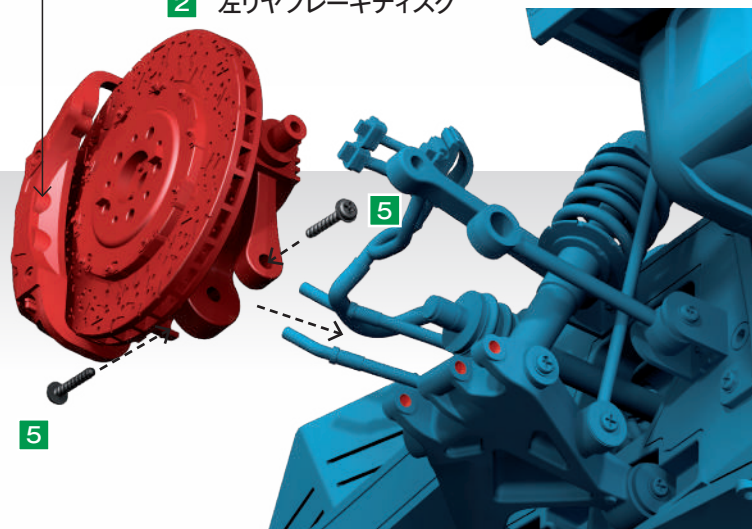


STEP2

画像のようにキャリパーをアッセンブリーの前方に向け、左リアブレーキディスク❷をロアアームに配置し、2本のタイプVネジ❸で固定します。

キャリパー

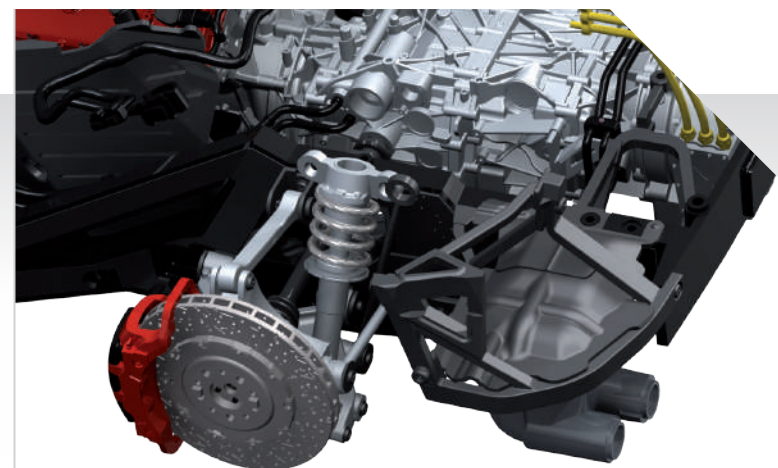
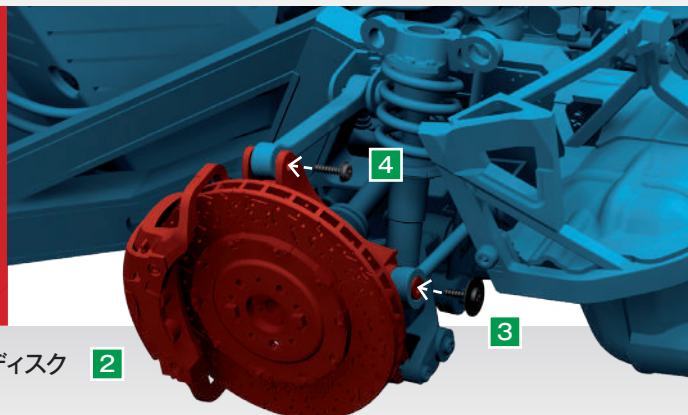
❷ 左リアブレーキディスク



STEP3

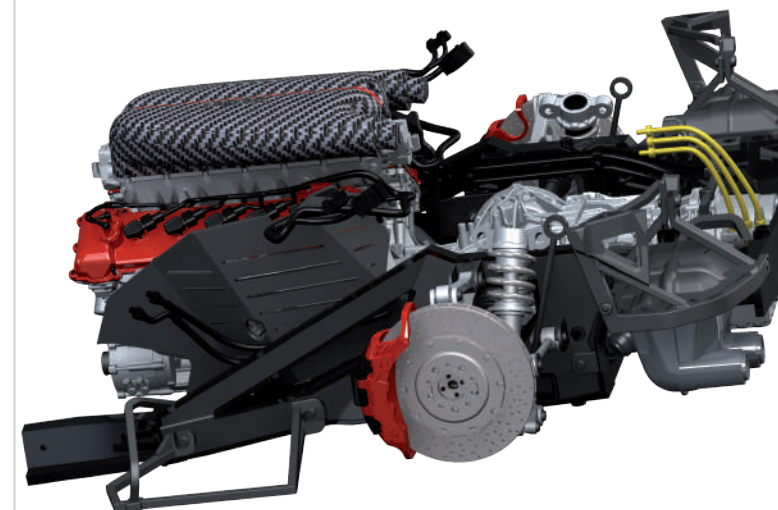
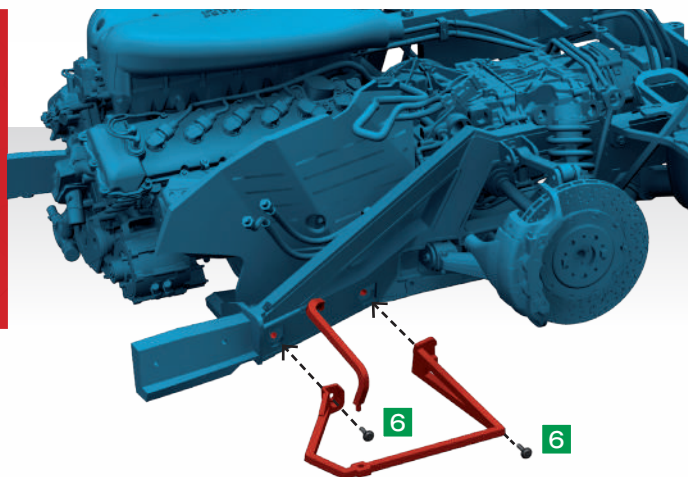
2本のタイロッドを左リアブレーキディスク²に取り付け、タイプCネジ³とタイプUネジ⁴のネジを、それぞれ1本ずつ使って固定します。

左リアブレーキディスク ²



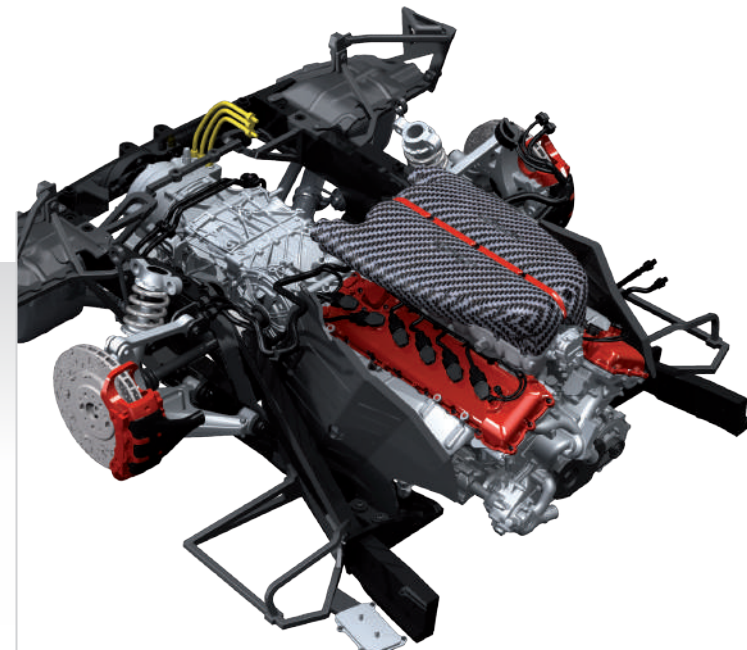
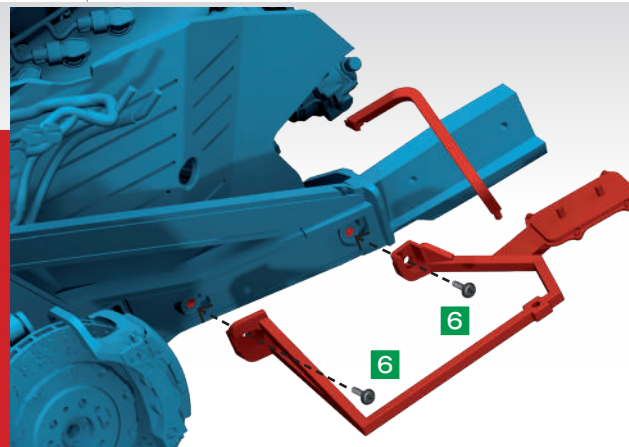
STEP4

STAGE41で開梱した左側補強材とサイド補強カップリングを、画像のように配置し、2本のタイプAネジ⁶でリアフレームに固定します。



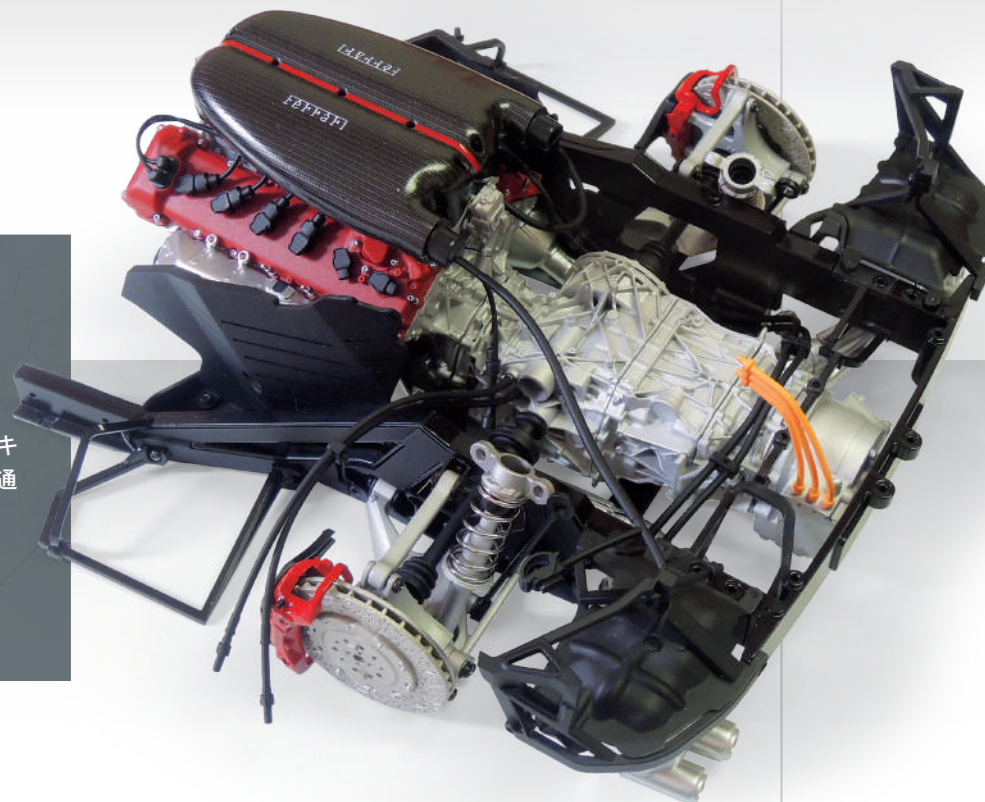
STEP5

続いて右側です。STAGE41で開梱した右側補強材とサイド補強カップリングを、画像のように配置し、2本のタイプAネジ⑥でリアフレームに固定します。さらにSTAGE41で開梱したスクエアコンテナを、サイド補強材に押し込みます。



STAGE45完了

リアサスペンションおよびディスクブレーキシステムが完成した状態です。これは実車通りに動きます。

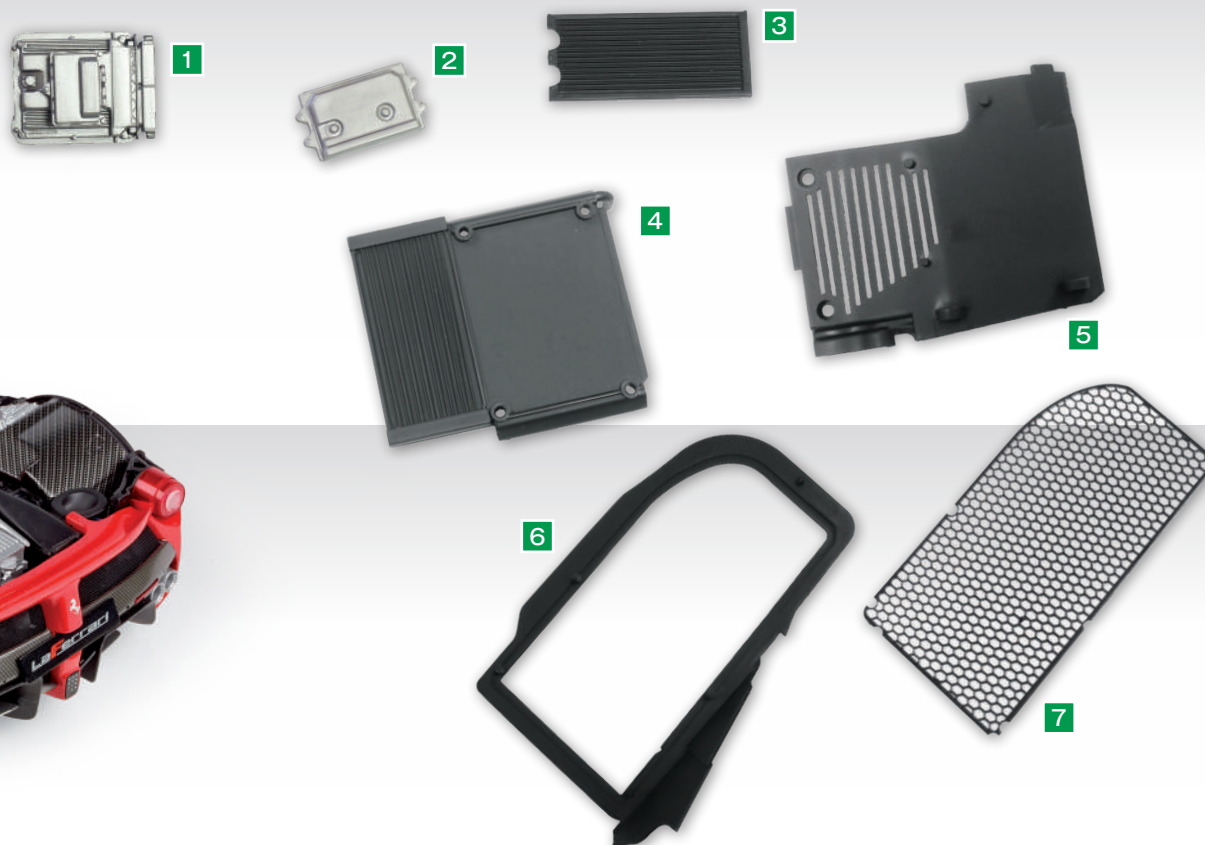


STAGE46 左リアラジエター THE REAR LEFT RADIATOR

「ラ・フェラーリ」のような高性能車は、
さまざまなパーツから熱を発生するため、
効率の高いクーリングシステムの装備が
必要不可欠となります。

PARTSLIST

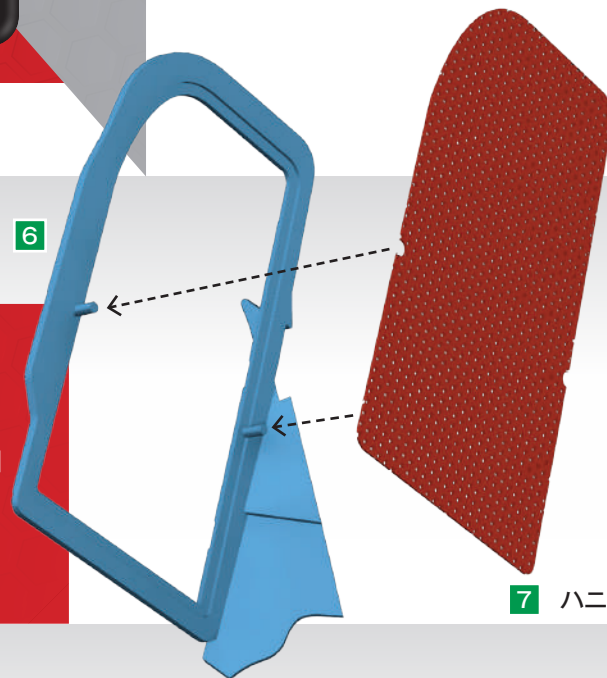
NO.	名称	数量	素材
1	ディテールアップパーツA	1	ABS
2	ディテールアップパーツB	1	ABS
3	ラジエターディテールアップパーツ	1	ABS
4	ラジエター	1	ABS
5	カバープレート	1	ABS
6	フレーム	1	ABS
7	ハニカムメッシュ	1	メタル



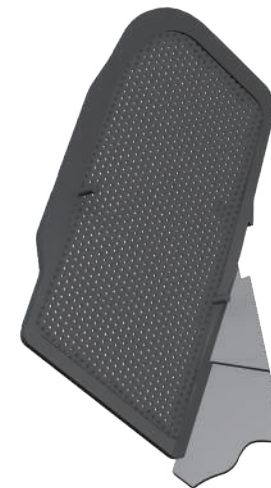
フレーム 6

STEP1

ハニカムメッシュ7の凹みを、フレーム6の突起に合わせて押し込みます。

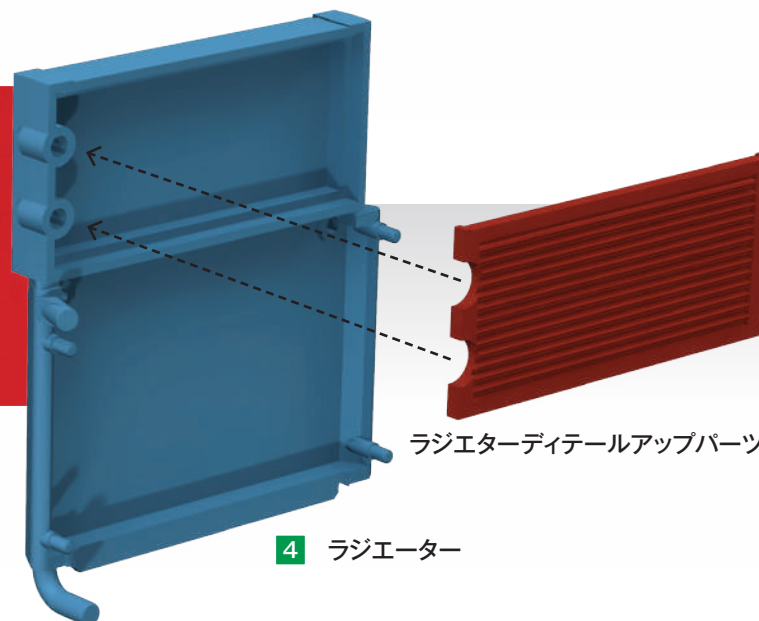


7 ハニカムメッシュ



STEP2

ラジエターディテールアップパーツ3の凹みを、ラジエター4の凸部に合わせて押し込みます。



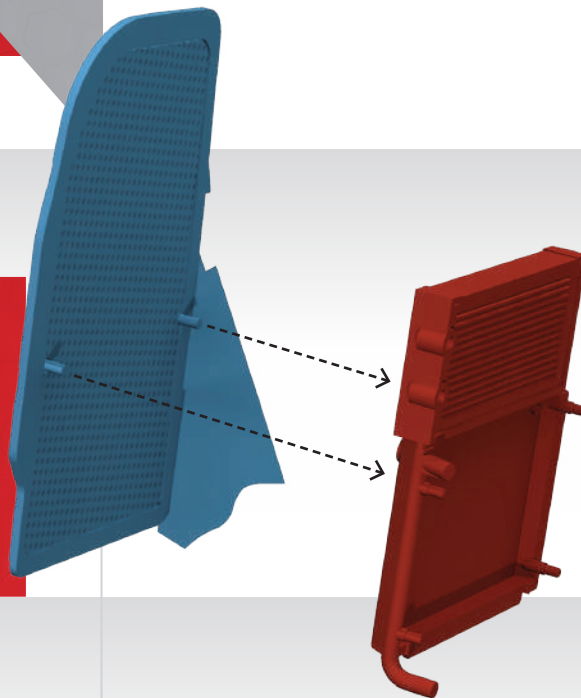
ラジエターディテールアップパーツ 3

4 ラジエター



STEP3

STEP1とSTEP2のアッセンブリーを画像のように配置し、フレームの突起をラジエターにしっかりと押し込みます。



STAGE46完了

左リアラジエターの完成です。STAGE48で右リアラジエターを組み立てます。ディテールアップパーツA**1**、ディテールアップパーツB**2**、カバープレート**5**は保管しておいてください。

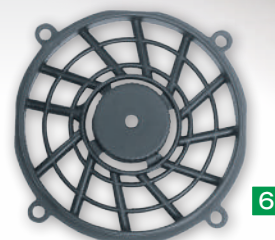


STAGE47 | 換気システム THE VENTILATION SYSTEM

ハイパーカーのブレーキシステムは、
高い性能が維持できるように
高能率の換気システムを備えています。

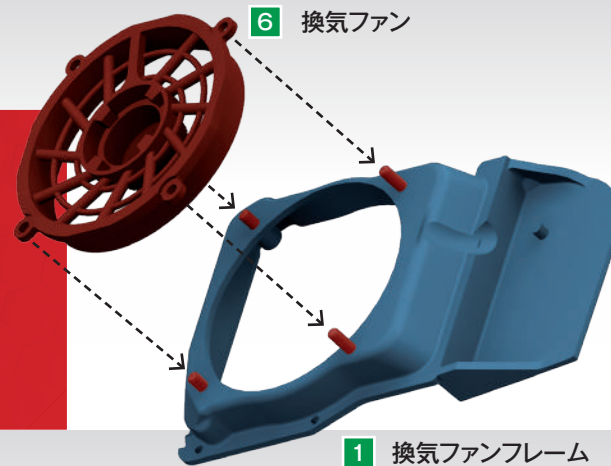
PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	換気ファンフレーム	1	ABS
2	カップリング	1	ABS
3	フロントチューブ	1	ABS
4	リアチューブ	1	ABS
5	フェルール	1	ABS
6	換気ファン	1	ABS



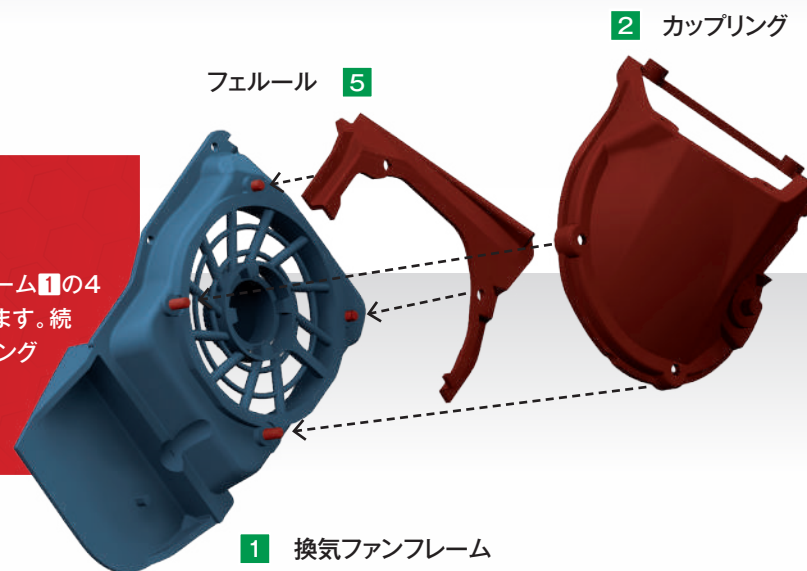
STEP1

換気ファン⁶外周部の4つの穴を、換気ファンフレーム¹の突起に押し込みます。どの方向に取り付けてもOKです。



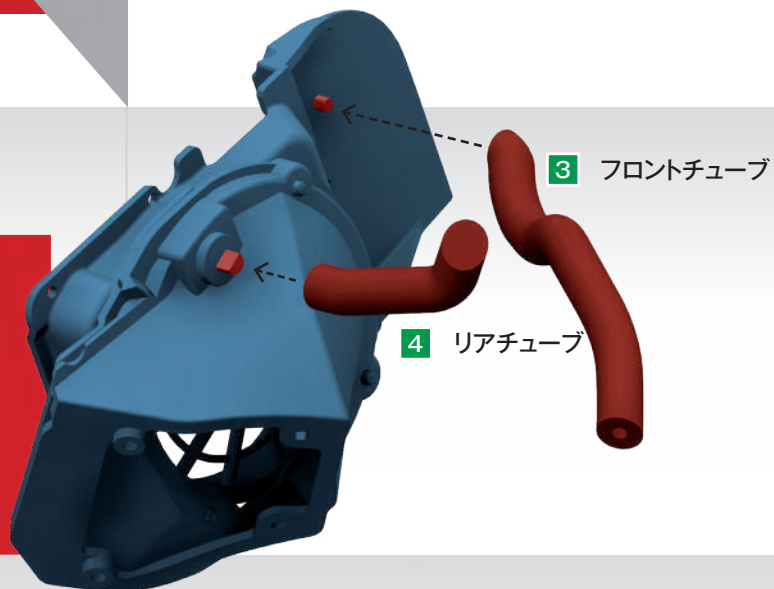
STEP2

フェルール⁵を、換気ファンフレーム¹の4つの突起のうちの2本に押し込みます。続いて残りの2本の突起に、カップリング²を取り付けます。



STEP3

画像のようにフロントチューブ③を、換気ファンフレーム①の細い突起に押し込みます。続いてリアチューブ④を太い突起に押し込みます。



STAGE47完了

換気システムが組み立てられた状態です。

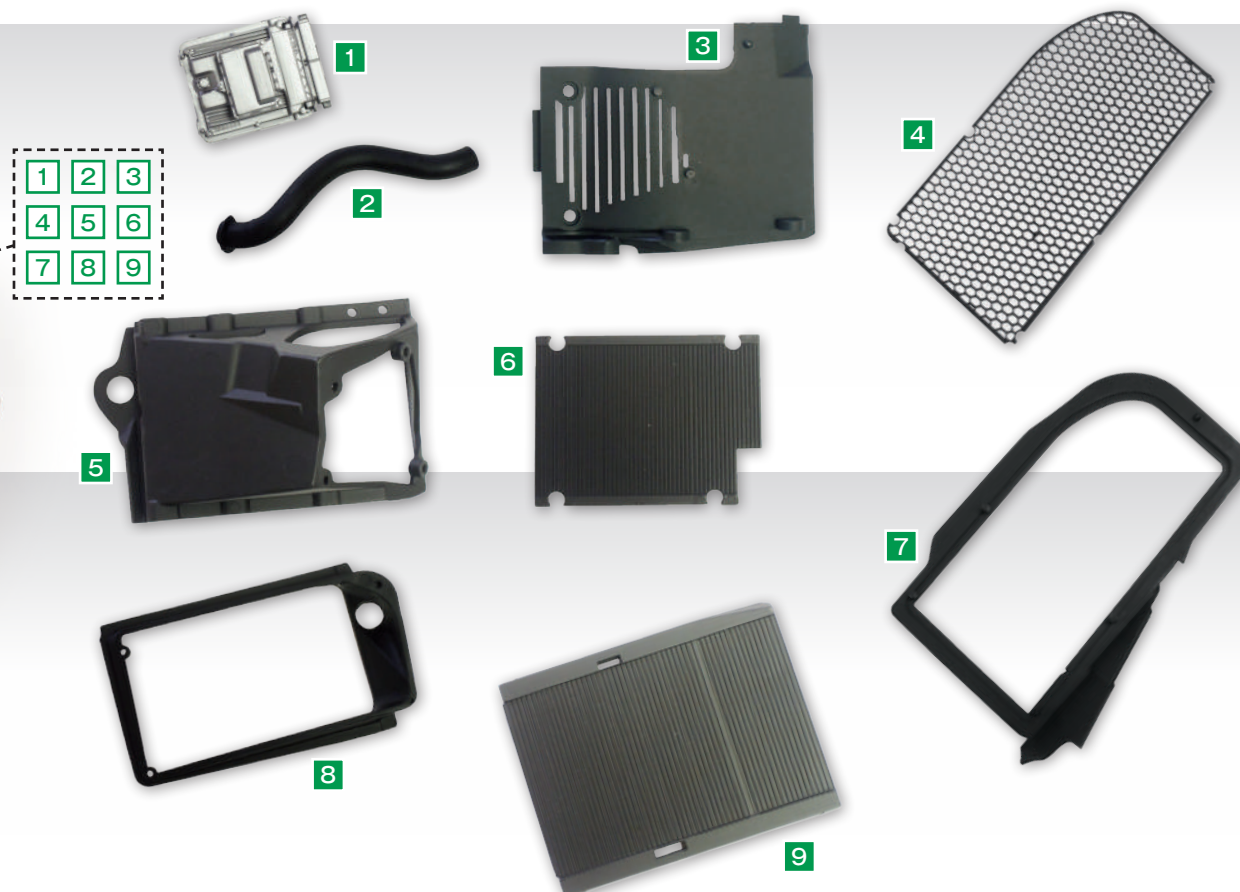


STAGE48 右リアラジエーター THE REAR RIGHT RADIATOR

「ラ・フェラーリ」の熱交換システムは
一切の妥協を許さずに設計され、
高能率と高耐久性を獲得しています。

PARTSLIST

NO.	名称	数量	素材
1	ディテールアップパーツA	1	ABS
2	パイプ	1	ABS
3	カバープレート	1	ABS
4	ハニカムメッシュ	1	メタル
5	カップリング	1	ABS
6	ラジエーターB	1	ABS
7	フレームA	1	ABS
8	フレームB	1	ABS
9	ラジエーターA	1	ABS

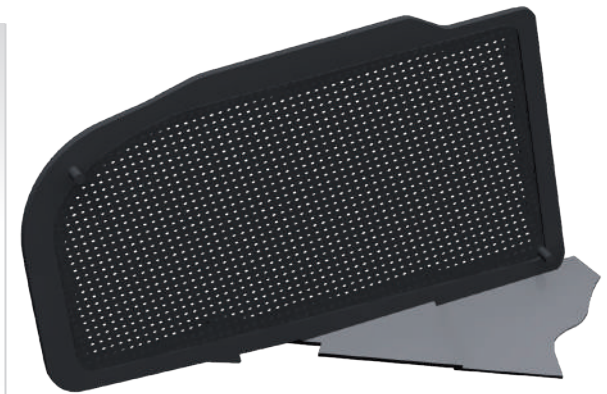
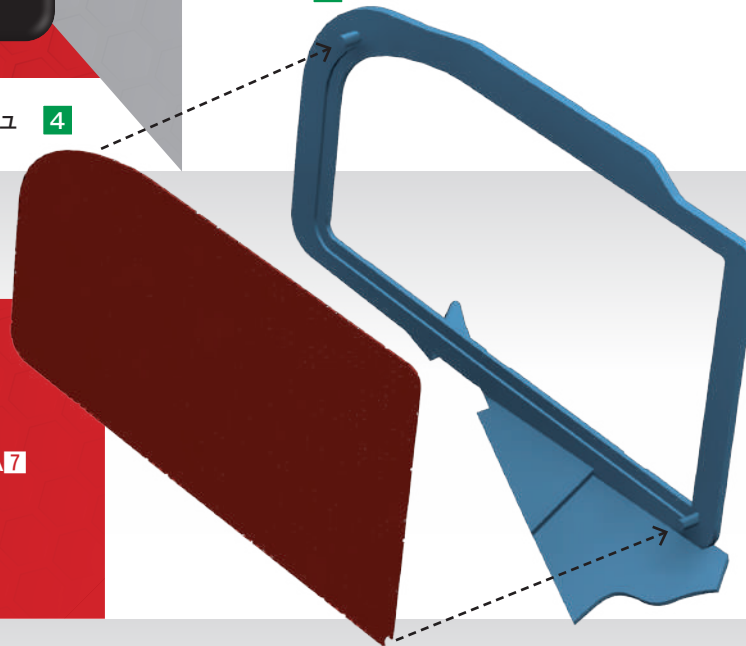


ハニカムメッシュ 4

フレームA 7

STEP1

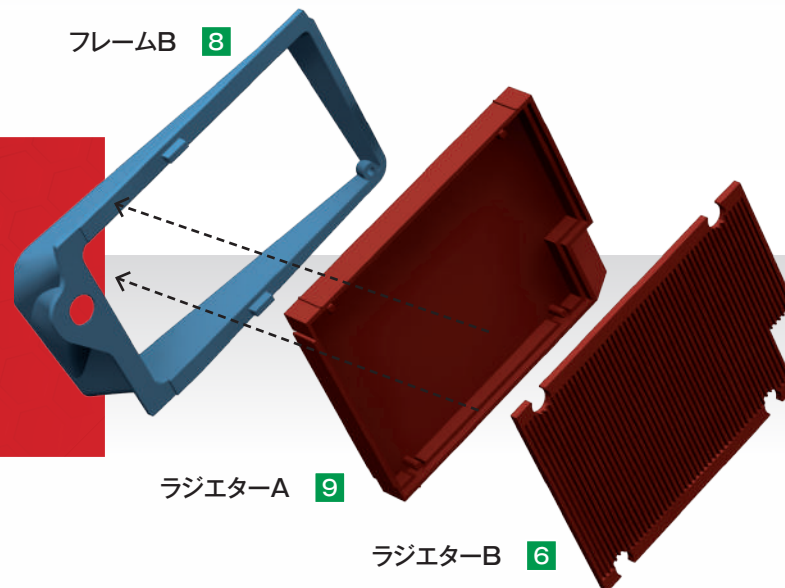
ハニカムメッシュ4の穴を、フレームA7の突起に合わせて押し込みます。



フレームB 8

STEP2

ラジエターB6をラジエターA9に押し込みます。続いて画像のように、アッセンブリーをフレームB8にはめ込みます。



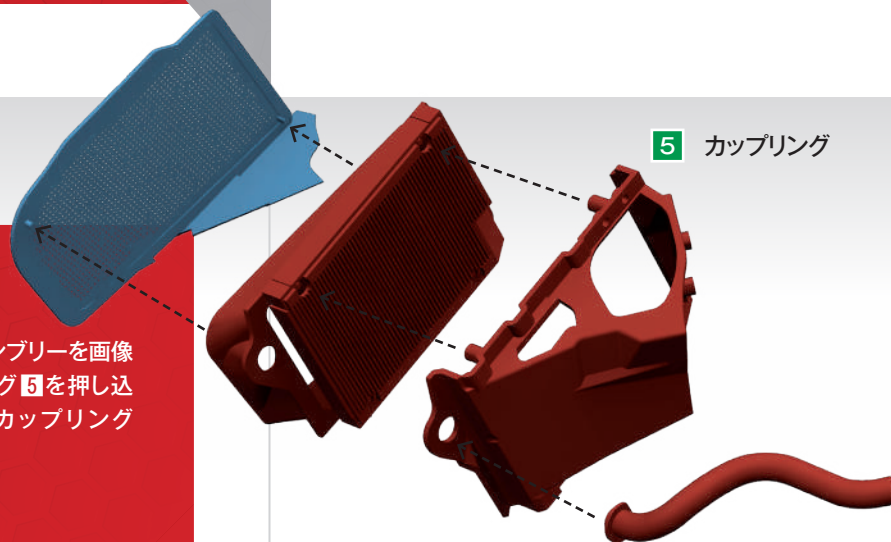
ラジエターA 9

ラジエターB 6



STEP3

STEP1とSTEP2のアッセンブリーを画像のように配置し、カップリング⁵を押し込みます。続いてパイプ²をカップリングに押し込みます。



5 カップリング

パイプ 2



STAGE48完了

右リアラジエターの完成です。ディテールアップパーツA¹、カバープレート³は保管しておいてください。

